

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	澤村 康廣	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3176		事務事業名称		学童保育事業						短縮コード		経常	3176		臨時	3552		
予算区分		会計	01	一般会計		款	03	民生費			項	02	児童福祉費			目	07	学童保育費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市学童保育条例，八千代市学童保育条例施行規則												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
昭和４８年に保護者（特に母親）の就労により，「かぎっ子」が増大したので,保護者の仕事と育児の両立と児童の健全育成を図るため開始した。																				
事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測						総 合 計 画 の 施 策 体 系	５本の柱（章）		01	健康福祉都市をめざして										
就労している母親が増加し,また東葉高速鉄道沿線の開発により一部地域では人口が増加しているため,それに伴い学童保育所への入所を希望しても入れない待機児童が増加中である。							大項目（節）		02	社会福祉										
							中　項　目		01	児童福祉										
							小項目（施策）		02	児童の健全育成の推進										
							細　項　目		01	放課後児童対策の充実										
						実　施　計　画　の 計　画　事　業		1205	村上第2学童保育所移転事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計　画　事　業　期　間		～				計　画　事　業　費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小学校１～３年生で放課後帰宅しても保護者の就労等で適切な監護を受けられない児童。											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 学童保育所の入所・退所申請受付・審査・決定。学童保育料の決定・徴収・督促。学童保育所の維持管理。											
	※平成19年度に計画していること： 学童保育所の入所・退所申請受付・審査・決定。学童保育料の決定・徴収・督促。学童保育所の維持管理。 ガイドラインの策定											
意図 （何を狙っているのか）	保護者の就労等で適切な監護を受けられない児童を放課後安全に保育し，健全に育成する。											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	放課後の児童の居場所を確保し，子育て支援を行う。											
区 分					単位	17年度		18年度		19年度		
						実績		計画		実績		計画
対象指標	指標1	市内小学校１～３年生までの児童数			人	5,798		5,826		5,826		5,857
	指標2											
	指標3											
活動指標	指標1	入所決定児童数			人	731		731		731		707
	指標2	学童保育所の設置数			箇所	17		18		18		18
	指標3	建物の修繕額			円	451,279		640,000		638,400		800,000
成果指標	指標1	入所申請者に対する決定者の割合			%	96		100		99		100
	指標2											
	指標3											
上位成果指標	指標1	保育園待機児童数			人					99		
	指標2	子どもが心身ともに健やかに発育発達していると感じている			%					55.3		
	指標3	ファミリー・サポート・センター登録者数			人					1,039		

コード	3176	事務事業名称	学童保育事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			既存施設における定員の拡大、通所対象地区の見直し、社会福祉法人等への新規委託。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			定員拡大を実施する場合は、施設整備費や職員の増員が必要となり、新たな委託料の予算措置が必要となってくる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
長期休業中の開所時間を午前8時からに変更, 全土曜日の開所, 対象児童を4年生以上へ拡大, 夏休み等の長期休業中のみの利用, 待機児童の解消, 学童保育所の新設, 社会福祉協議会以外への委託の反対等									

所属長コメント	今後も引き続き、放課後の児童の居場所を確保し、子育て支援を行う。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			費用対効果を検証し、課題解決が可能であれば推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									